

取扱説明書

ザ・ガーデンズプレー1.0ℓST/DX

適応機種：1.0ℓST：GPS-1010 〒381-8530 長野県長野市北長池1443-2
1.0ℓDX：GPS-1110 ☎026-244-1317
URL: http://www.asaba-mfg.co.jp



このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、
ご使用前に必ずよくお読みになり正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。
また、本書を汚損したり紛失した場合はお買い上げの販売店にご注文いただき大切に保管してください。
本書に記載した△の表示のある注意事項や機械に貼られた△のラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。なお、△の表示のあるラベルが汚損したり、はがれた場合は必ずお買い上げの販売店にご注文いただき必ず所定の位置にお貼りください。

用途

- ・庭木の殺虫、消毒に
- ・園芸用、観賞用植物への散水、殺虫、殺菌剤の散布に
- ・除草剤の散布に
- ・野菜、果実、草花等へのホルモン剤の散布に

安全のために必ずお守りください

作業の前に

- ・作業前に各ネジ部にゆるみがないこと、タンクに亀裂、破損がないこと等、各部に異常のないことを確認してください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
- ・安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。
- ・噴霧機を持ち運ぶ際は必ずレバーロックされていることを確認してください。

作業中

- ・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のもにからかれないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- ・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または気分が少しでも悪くなった場合は直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- ・加圧した状態で長時間放置しないでください。顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、ノズル部を清掃する場合は、必ず本体とタンクをゆるめ圧力を抜いてください。

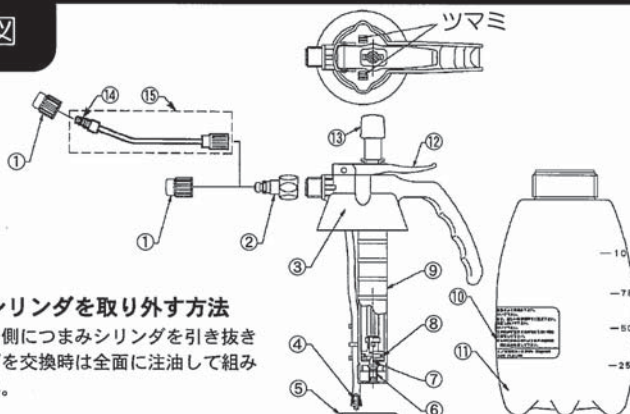
作業後と保管

- ・余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源池、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
- ・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・前回使用した薬液がタンク、ノズル等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を充分に洗い流してください。

農薬の取り扱い

- ・防除、除草用の農薬用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。(ハエや蚊等の殺虫剤、下水道の消毒剤等の環境衛生用の薬品は使用できません。)
- ・やけど、火災の恐れがありますので強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は絶対に使用しないでください。
- ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
- ・農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
- ・誤使用、誤飲の危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。
- ・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

分解図



記号	名称
①	ノズルキャップ
②	渦流体セット
③	本体
④	ストレーナ
⑤	Oリング 43.6×3.3
⑥	エア流入スプリング
⑦	エア流入弁
⑧	Oリング P-15
⑨	シリンダ
⑩	注意表示ラベル
⑪	タンク
⑫	レバー
⑬	ピストンロッド
⑭	Oリング P-6
⑮	ロングノズル

※本体からシリンダを取り外す方法

図示ツマミを内側につまみシリンダを引き抜きます。Oリングを交換時は全面に注油して組み付けてください。

※ 注意表示ラベルが見つからなかったり、はがれたりした場合は必ず新品と交換してください。

仕様

本体寸法	最大液容量	適性加圧回数1.0ℓ時	備考	主要部材質
1.0ℓ (GPS-1010) 273×110mm (高さ×タンク直径)	1.0ℓ	約30回		タンク 高密度ポリエチレン ポンプ部 ポリプロピレン その他 ポリアセタール ステンレス
1.0ℓDX (GPS-1110)			ロングノズル付	

680002540-2007.06

使用方法

①作業の前に

※作業前に製品に割れ、亀裂等、各部に異常のないことを確認してください。

②レバーのロック、解除のしかた

ピストンロッドが【ロック解除状態】の位置で噴霧及びタンクへの加圧ができます。【ロック解除状態】からピストンロッドをレバーロック方向に回転させ、【ロック状態】にするとレバーがロックされ、噴霧及びタンクへの加圧はできなくなります。

※加圧又は噴霧以外は【ロック状態】にしておいてください。

③薬液の入れ方

本体とタンクをゆるめ、タンクを外し薬液を入れます。

※薬液は他の容器で調合してください。

※安全性を損なう恐れがありますので、40℃以上の温水、発熱性の薬品は使用しないでください。

※薬液は1.0ℓの表示以上入れないでください。

※薬液を入れたら、すぐに本体を取り付けてください。

本体とタンクは空気が漏れないよう充分締め付けてください。

④加圧します

【ロック解除状態】でピストンロッドを上下させ加圧します。

適性加圧回数

1.0ℓ	0.5ℓ
約30回	約80回



⑤噴霧します

1.噴霧の仕方

【ロック解除状態】でレバーを押すと噴霧し、はなすと停止します。

※噴霧作業中以外はレバー押さないでください。

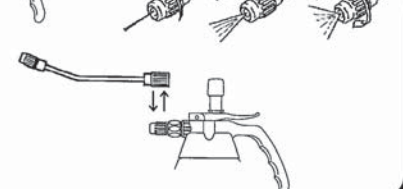
2.ノズルの操作

ノズルキャップを締め込むと細かい霧で広い角度に散布します。ノズルキャップをゆるめると荒い霧で直射状に遠くまで散布できます。

3.ロングノズルの取付(1.0ℓDXのみ)

ノズルキャップを外し、渦流体セットにロングノズルを取り付けます。

【ロック解除状態】
噴霧及び加圧可能
レバーロック方向



使用後の手入れと保管

・作業が終わったらタンク内を充分に洗浄し、更に清水を入れ1分間以上噴霧しタンク内の水を払ってください。

※薬液や空気が吹き出す恐れがありますので、接続部を外す前に本体とタンクをゆるめ圧力を抜いてください。

※余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源池、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。

※前回使用した薬液がタンク、ノズル等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。特に除草剤散布に使用した後、一般防除作業に使用する場合は、残っている薬液を充分に洗い流してください。

※保管は屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所にしてください。

※プラスチック部品は、直射日光に長期間さらされると、著しく強度が低下することがあります。また注意表示ラベルも変色したり、はげやすくなりますので保管には充分注意してください。

※薬液タンクは紫外線により劣化が進みますので、使用開始後4年をめぐりに新品と交換してください。

故障と修理方法

内容	原因	処置
ピストンロッドの動きが悪い、操作が重い、または押し戻される	●Oリング⑧の油切れ ●エア流入弁⑦のゴミ詰まり、または劣化	○Oリング⑧に少量注油する ○エア流入弁⑦を掃除する、または新品と交換する
圧力が上がらない、または空気の漏れる音がする	●タンク⑪と本体③のねじ込み不足 ●Oリング⑤の欠落	○タンク⑪と本体③を締め付ける ○本体側に組み付ける
液の出が悪い、または噴霧状態が悪い	●加圧不足 ●ネジ部より空気が漏れる ●ストレーナ④のゴミ詰まり ●ノズルキャップ①へのゴミの付着	○加圧する ○各ネジ部を締め付ける ○掃除する

※修理を行う場合は、事前に本体とタンクをゆるめ圧力を抜いてください。また、ノズルキャップの掃除を行う際は顔面に薬液がかかる恐れがありますので必ずタンクを取り外した状態で行ってください。

※Oリングを交換する際は、必ずOリング全面にエンジン油、またはギア油を注油してください。

※上記の処置を行っても直らない場合、または上記以外の症状の場合は販売店にご相談ください。